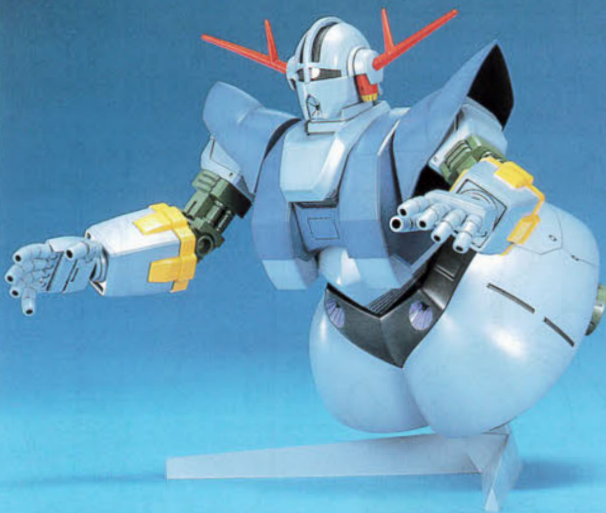
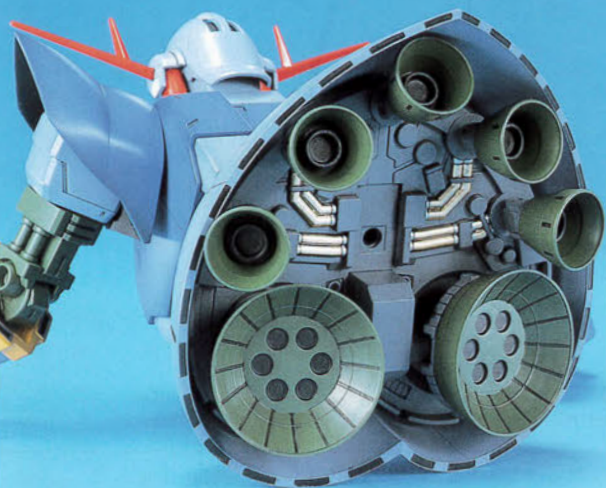


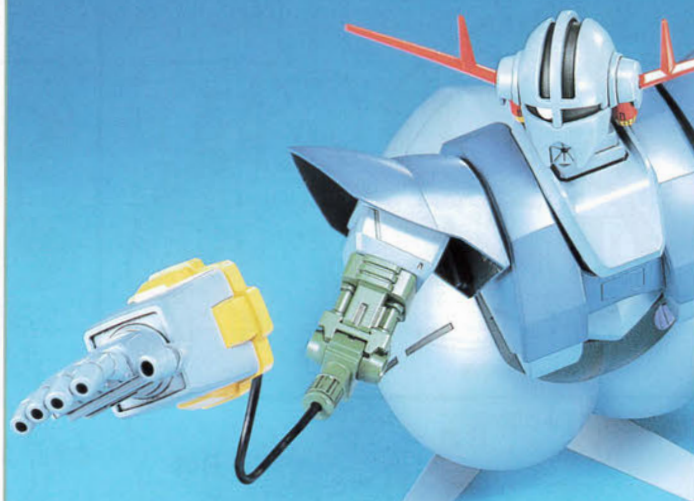
メモリアルアクション



スカートバーニア



腕部5連装メガ粒子砲



リアビュー



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

- | | |
|--|--|
| ●頭部、スカート等：
ミディアムブルー (60%)
+ホワイト (40%)
+モンザレッド (少量)
※または、ガンダムカラーブルー18 | ●頭部アンテナ等：
モンザレッド (100%) |
| ●胸部等：
コバルトブルー (90%)
+ニュートラルグレー (10%)
+シャインレッド (少量)
※または、ガンダムカラーブルー19 | ●腹部：
ミッドナイトブルー (100%) |
| ●上腕、バーニア：
グリーン (70%)
+RMLグレー02 (30%)
※または、ガンダムカラーグリーン9 | ●腹部メガ粒子砲：
パープル (50%)
+ホワイト (50%) |
| ●前腕バーニア部：
イエロー (70%)
+オレンジイエロー (30%) | ●スカート内部：
ニュートラルグレー (75%)
+ネービーブルー (15%)
+ブルー (5%)
+パープル (5%) |

●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

MSN-02 'ZEONG'

PRINCIPALITY OF ZEON MOBILE SUIT FOR NEWTYPE

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MSN-02
TOTAL HEIGHT : 17.3m
WEIGHT : 151.2t
TOTAL WEIGHT : 231.9t
GENERATOR OUT PUT : 9400kw
MATERIAL : UNKNOWN
ARMAMENTS :
FIVECHAMBERD MEGA BEAM CANNON ARM
WAIST MEGA BEAM CANNON
HEAD MEGA BEAM CANNON



1/144 SCALE
HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2001 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。

**BAN
DAI**

0103327

MSN-02 “ZEONG”

ジオングは、YMS-16系などの機体計画が提案された当初から開発が検討されていた機体で、度重なる紆余曲折と計画変更を経て、一年戦争最末期ようやく設計の完成を見たサイコミュ搭載MSである。サイコミュは、ミノフスキー粒子の散布技術の発達に伴って無効化された電子戦、特に遠隔誘導技術をほぼ完璧に代替するシステムであった。開発の途上で、ザクをベースとする試作機MS-06Z、あるいはMSN-01などが試作されたと言われている。ただし、サイコミュそのものが、MAN-03ブラウプロや、MAN-08エルメスなどでようやく実用化が達成されたばかりであり、デバ

ス自体の小型化も困難であったため、機体も非常に巨大なものとなってしまった。脚部まで完成すれば全高は30mを超えていたとされるが、前述のプランではすでに脚部をオミットした構想もあった。技官が「完成している」と言ったのもあながち方便ではない。両腕は有線サイコミュ誘導の5連装メガ粒子砲で、オールレンジ攻撃が可能である。また、頭部はコクピット兼脱出装置となっており、データとパイロットの回収率を高めている。ア・バオア・クー攻防戦時において試作機が脚部ユニットや一部装甲を欠いた状態で迎撃戦に投入され、ガンダムとの交戦により撃破されている。“ニュータイプの発現”という、公国の基本的理念を証明する究極のMSを目指して開発されたため、国名をとって“ジオング”と名付けられたと言われている。

その機体にジオン・ダイクンの実子であるシャアが乗るというのも歴史の皮肉であろうか。

ショルダーアーマー

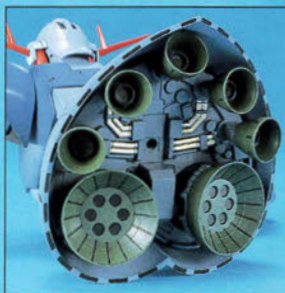
頭部メガ粒子砲

腰部メガ粒子砲

腕部5連装メガ粒子砲

SPEC

型式番号：MSN-02
全高：17.3m
本体重量：151.2t
全備重量：231.9t
ジェネレーター出力：9400kw
装甲材質：不明
武装：腕部5連装メガ粒子砲
腰部メガ粒子砲
頭部メガ粒子砲

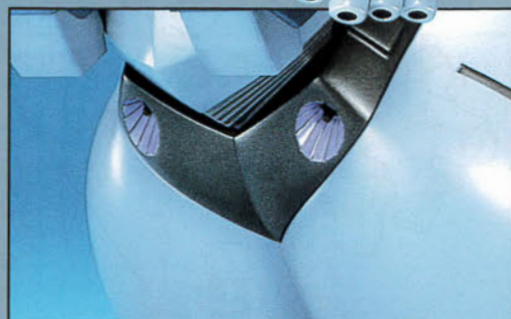


スカートバーニア
出撃時、ジオングの完成度は80%であり、上腕部の装甲や脚部ユニットが未装備のままだった。無論、脚部は他の機体同様、歩行の他、巨大な機動装備としても機能する予定で、腰部関節への実装を待つばかりであった。スカート後部の5基のバーニアは設計当初から設置されていたが、前部2基のコンフォーマルバーニアは、脚部そのものの代替デバイスである。

▼**腕部5連装メガ粒子砲** ジオングの両腕は、上腕部から分離してオールレンジ攻撃を展開する有線ビット兵器として機能する。マニピュレーター兼用の5指は、それぞれが強力なメガ粒子砲を内装しており、究極的には片腕で5つのターゲットを別個に狙うことが可能だったと言われている。マニピュレーターは既存の機体とは規格が大幅に異なるため、MS用の武装などはほとんど使用できない。



▲**頭部ユニット** 機体とは独立したコクピットブロックとなっており、非常時には脱出装置として機能するが、実際にはオールレンジ攻撃の一面を担う超小型の宇宙戦闘艇でもあると言える。ただし、本体から分離した場合の実用稼働時間は10分にも満たないらしい。



▲**腰部メガ粒子砲** ボディユニットの腰部に2門装備されている強力な武装。砲身は相応の自由度があり、対地、対空兵器としても使用可能。



MSN-02 ジオング

ジオングは、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および映画版「機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙(そら)編」に登場したジオン公国軍の最後のサイコミュ搭載MSである。U.C.0079年12月31日、ジオン公国の絶対防衛ラインを構成する宇宙要塞ア・バオア・クーを巡る攻防戦が展開されていた。巨大兵器ソーラ・レイの掃射で艦艇の約半数を喪失したにもかかわらず、連邦軍は攻勢を保ち、艦内にア・バオア・クーへ肉薄していた。ガンダムを始めとするMS部隊は十字砲火をいかくぐり、続々とア・バオア・クーへの止陸を果たしていった。そんななか、ララァを失い、ゲルググも撃破された赤い彗星ことシャア・アズナブルは、キシリアから新たな機体を与えられた。最強の機体を目指して開発された、国名を冠する究極のMS、ジオングである。ガンダムへの復讐に燃えるシャアは、自らのニュータイプの素養をいふかりながらも、連邦軍の侵攻を食い止めるべく出撃する。アムロが駆るガンダムは、ジオングに目もくれずア・バオア・クーを目指そうとするものの、シャアもまた執拗に追いつくる。「やるしか……、ないのか!?!」不意に飛び出したザクを一蹴し、ジオングに迫るアムロのガンダム。シャアは追い込まれるのを感じながらも、自分に言い聞かせるように叫んでいた。「しかし! ……私もニュータイプのはずだ!!」四方からのオールレンジ攻撃がガンダムを狙う!!

協力：ホビージャパン

HG UNIVERSAL CENTURY

水陸両用のハイスpek MS。

MSM-03ゴックなどの機体の実働データをもとに、第二期開発計画に基づいて開発されたズゴックの中でも、ジオングのパイロットでもあるシャアが、地球圏(ジャブロー)にて使用したS型には、選りすぐりの部材が使用され、スペックには表れない工程上の配慮がなされており、対MS戦などにおいても、パイロットによっては白兵戦用機並の戦果を上げたと言われている。



019 シャア専用ズゴック

一年戦争、伝説の“白いモビルスーツ”

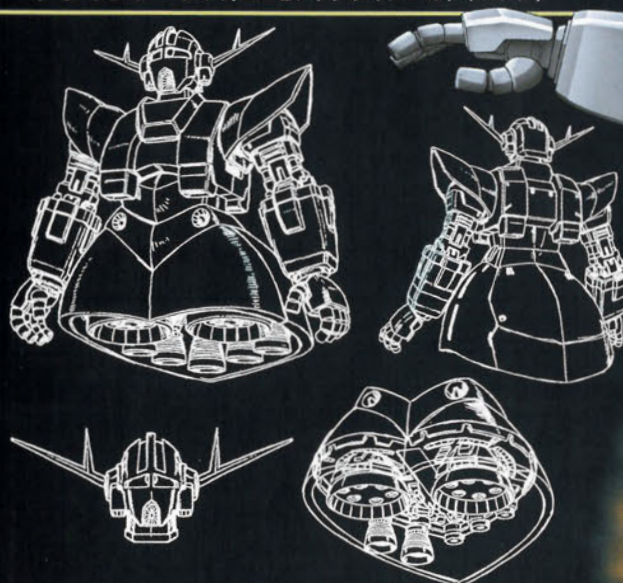
「V作戦」に基づいて開発された連邦軍初の実戦型の試作モビルスーツである。コア・ファイターに搭載された教育型コンピュータの戦闘データは逐次更新され、もっとも適切な対処法を自ら構築していくことができる。このシステムはコストが高く、戦艦を体験したシステムとパイロットの回収は最優先事項だった。また、短期間での機体そのものの機能向上や、システム自体の改善も可能だったのである。シャアはアムロが乗るガンダムと、MSを乗り換えながら幾度となく戦いを繰り返した。



021 ガンダム

※この商品には、ジオング1体以外はいりません。

■MSN-02 ZEONG (ジオング) デザインワークス(コンセプトデザイン：カトキハジメ)



「ジオング」のリニューアルデザインにおいては、腰部をはじめとする機体各部のフレキシブルな可動と、脱着可能な腕部による“オールレンジ攻撃”の再現が重点的なポイントと言える。

Illustration work
Drawn by SHINO MASANORI
CG Work by FURUKAWA TAKAYUKI

△警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 生後18カ月未満のお子様には絶対に与えないでください。ひもなどで首を絞める危険があります。

△注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。



・接合をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



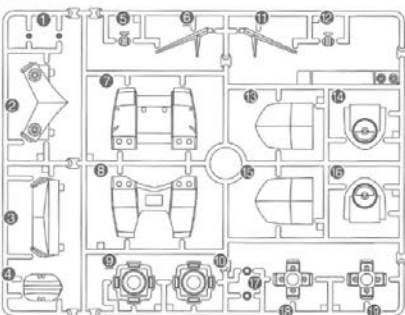
・どちらかを選んで取り付ける



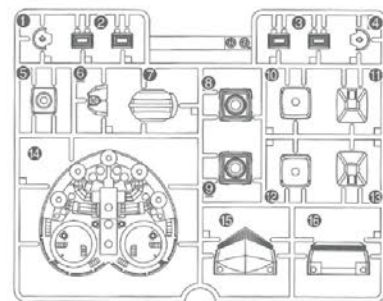
・反対側も同じように動かしします

パーツリスト

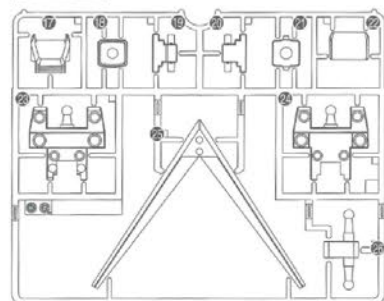
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



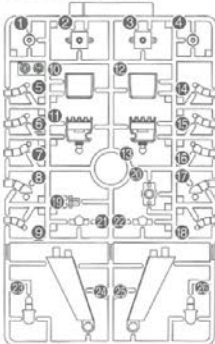
C1パーツ (スチロール樹脂: PS)



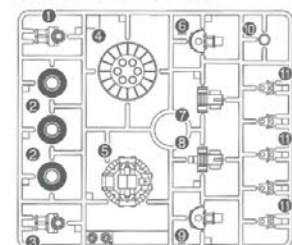
C2パーツ (スチロール樹脂: PS)



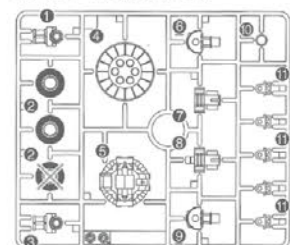
Bパーツ (ABS樹脂: ABS)



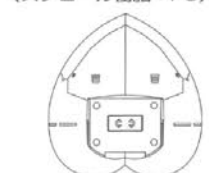
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



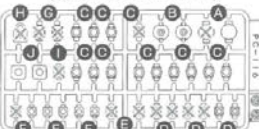
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



Eパーツ (スチロール樹脂: PS)

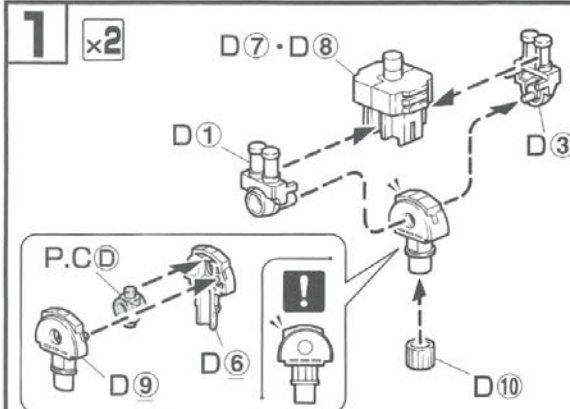


<P.C-116> (ポリエチレン: PE)

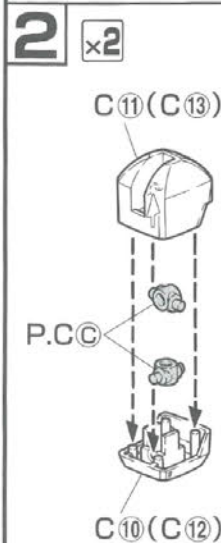


- シール……………1
- リード線……………1 (塩化ビニル樹脂:PVC)

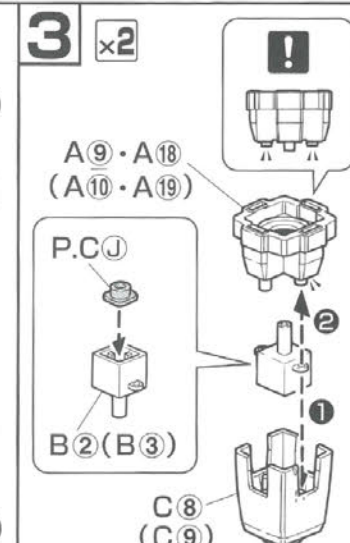
1 x2



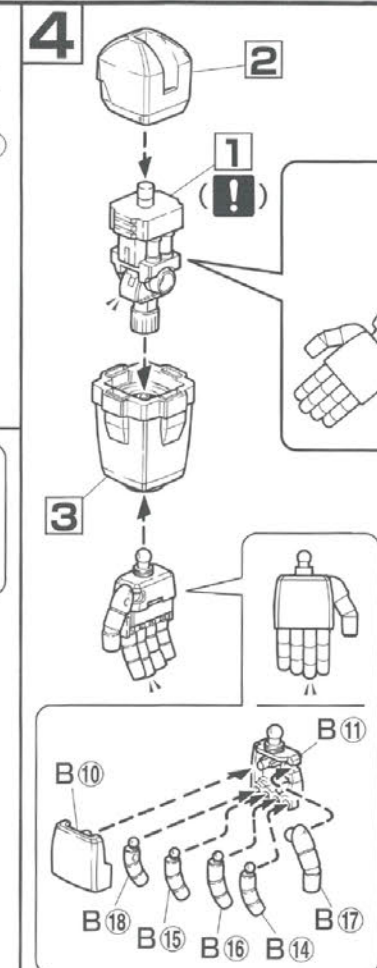
2 x2



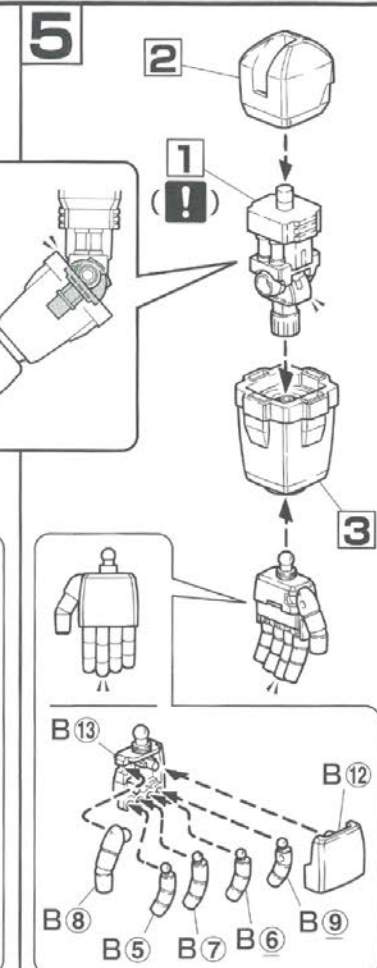
3 x2



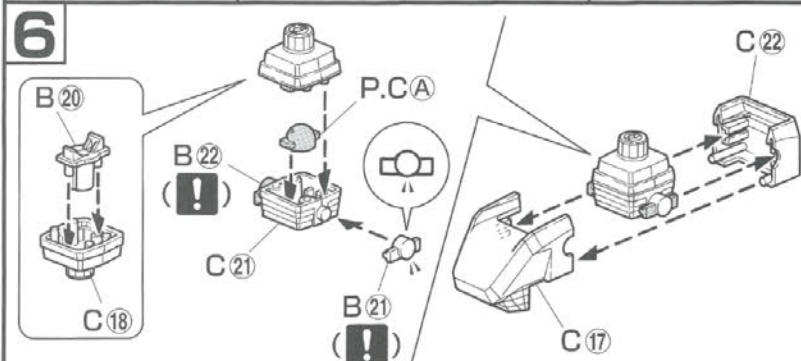
4



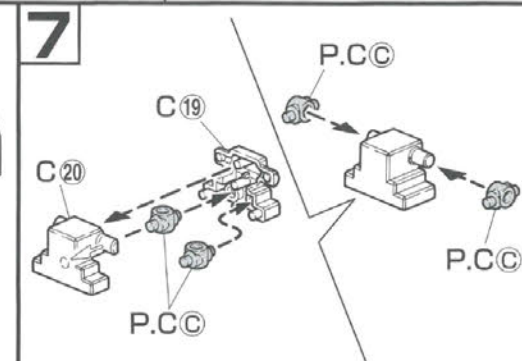
5



6



7



8

